

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	保育原理 [Principles of Early Childhood Care and Education]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	750116	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	金子 幸			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2)		
授業概要	<p>本授業の目的は、保育とは何か、その基本について理解をすることです。子どもは社会全体で育てていかなければならない存在であり、そのために何が必要かなどの保育の営みの基本となることを学びます。また、現代社会における保育の役割・意義、保育者の役割、保育の歴史・思想・制度など、保育にかかわる基本的事項について学びます。さらに、子どもの発達過程や保育の内容、環境、方法など、保育者として身に付けておくべき保育の基本について理解を深めていきます。そのために授業では、保育所保育指針の内容を中心に保育の基本について解説していきます。</p>						
関連する科目	履修後は、「保育者論」を受講することが望ましい。						
授業の進め方と方法	毎回の授業にて、講義形式の授業を展開します。1回の授業の構成は以下の通りです。 授業計画の内容に沿った講義を行い、授業後に講義内容に関する質問を記述で受け付けます。講義後の質問に関しては、次回の授業の最初に口頭で解説を行います。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の理念と概念 保育の理念や概念について学び、保育の成り立ちやその仕組みについて理解を深めます。</li> <li>2. 保育の社会的役割と責任 保育所に求められる社会的責任について学び、保育が果たす社会的な意義や役割について理解を深めます。</li> <li>3. 子ども・子育て支援新制度と保育にかかわる関係法令 子ども・子育て支援新制度を中心に、多様な保育・子育て支援と関係法令について学びます。</li> <li>4. 保育の実施体系 保育施設の設置や運営基準、保育施設を利用する際の申請や使用の手続きについて学びます。</li> <li>5. 保育所保育に基づく保育 「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」について、その内容や制度的位置付けについて学びます。</li> <li>6. 保育の目標と方法 保育の目標と方法について、保育所保育指針をてがかりに学びます。</li> <li>7. 乳児の保育 乳児の発達過程や保育の基本を踏まえ、保育所保育指針における乳児保育の内容を学びます。</li> <li>8. 1歳以上3歳未満児の保育 1・2歳児の発達過程や保育の基本を踏まえ、保育所保育指針における1歳以上3歳未満児の保育の内容を学びます</li> <li>9. 3歳以上児の保育 3歳以上児の発達過程や保育の基本を踏まえ、保育所保育指針における3歳以上児の保育の内容を学びます。</li> <li>10. 子ども理解に基づく保育の過程—理論編 保育者が行う保育の過程について理論的に学びます。</li> <li>11. 子ども理解に基づく保育の過程—実践編 保育の過程の理論的なことを踏まえた実践的な内容を学びます。</li> <li>12. 諸外国の保育の思想と歴史 諸外国の保育の思想と歴史について学びます。</li> <li>13. 日本の保育の思想と歴史 日本の教育の思想と歴史、子育ての思想、施設保育の始まりについて学びます。</li> <li>14. 諸外国の保育の現状と課題 諸外国の保育の現状と課題について学びます。</li> <li>15. 日本の保育の現状と課題 日本の保育の現状と課題について学び、よりよい保育制度の改革について考えます。</li> </ol>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の意義や基本的な考え方を理解する</li> <li>2. 保育の目標、ねらい、内容、方法、計画についての基本を理解する</li> <li>3. 保育の思想、歴史を学び、現代の保育制度について理解する</li> </ol>						
授業時間外の学修	授業計画の当該回の範囲の教科書を事前に熟読し、授業内容を把握しておくことを予習とします。該当ページについては、毎回の授業で伝えます。授業後は、授業内容を振り返り、授業で示したスライド資料とテキストを活用し、授業内容に関して各自でまとめ、内容の定着を図ることを復習とします。						
課題に対するフィードバック	授業後に記入する質問は次の授業の最初に口頭で回答します。また、課題については評価後に返却し、最終試験は試験後に解説します。	評価方法			以下の項目に基づいて評価します。 1) 最終試験 50点 2) 学習態度・意欲 20点 3) 課題提出 30点		
テキスト	『新基本保育シリーズ①「保育原理」』(2,000+税)、公益財団法人児童育成協会監修、中央法規、2019						
参考書	『保育所保育指針解説書』(320+税)、厚生労働省編、フレーベル館、2017						
備考							